

臣仲世等言、略○中 後田原天皇仁○光 寶龜十一年、數奏此事、

○按ズルニ、後田原トハ、延喜諸陵式ニ、皇考施基親王陵寶龜元年、追尊シテ、御ニヲ田原西陵ト云

ヒ、此天皇陵ヲ田原東陵トアリテ、續日本紀光仁天皇紀ノ首ニハ、施基親王ヲ稱シテ、田原天皇

ト云フコトモ見エタリ、是レ此天皇ヲ稱シテ、後田原ト云フ所以ナルベシ、

〔續日本後紀仁明〕天長十年三月二日壬辰、頒遣中納言從三位行民部卿藤原朝臣愛發略○中 等於柏

原長岡二山陵、豫告可即位之狀曰、略○中 掛畏 伎 柏原御門乃○天朝略○下

〔扶桑略記桓武拔萃〕桓武天皇世謂柏

〔簾中抄上〕かしは原のみかど、申す、武○桓 これみさゝきの名なり、

〔皇年代略記桓武〕延曆廿五年三月十七日崩、四月七日、葬山城國柏原陵、號柏原帝、

〔類聚國史佛道百八十八〕天長元年九月壬申、正五位下行河内守和氣朝臣眞綱從五位下彈正少弼和氣朝

臣仲世等言、略○中 柏原先帝、即以前詔、普告天下、

〔扶桑略記字多〕寛平二年庚戌二月十三日己巳、略○中 太政大臣會語曰、白壁天皇仁○光 時、將立皇太

子、略○中 爰藤原百川破其書、立柏原親王爲皇太子、大臣歎曰、我年耄、觀耻如此、柏原天皇武○桓 緣百川

之功親臨、

〔皇年代略記仁明〕嘉祥三年三月廿一日乙亥、崩于清凉殿、同廿四日、葬深草山陵、號深草帝、

〔愚管抄仁明〕此みかどは、深草のみかど、常に人申すなり、みさゝきの名なり、○又見

〔神皇正統記仁明〕第五十四代第三十世仁明天皇、深草の帝とも申す、

〔三代實錄清和〕貞觀元年三月十九日乙亥、大僧都傳燈大法師位眞雅抗表曰、略○中 嘉祥寺者、先帝文

德奉爲深草天皇仁○所建立也、

〔古今和歌集十六〕深草のみかど、明○仁の御國忌の日略○下